

# 共通名物返礼品に

ふるさと納税で、都道府県内の全自治体が同じ名物を返礼品として扱える「共通返礼品制度」の活用が全国で広がっている。特産品が乏しい自治体も寄付を集められることから、寄付額の格差解消や地場産品の消費拡大を目的に福岡県など18府県が導入。道内では根室市が、中国の輸入停止で影響を受けるホタテを共通返礼品にして生産者を支えようと提言したが、道は慎重姿勢だ。

国は競争過熱を抑えるため、2019年に返礼品を各市町村で生産加工された地場産品に限定。ただし福岡県の辛子めんたいこや高



鳥取県が共通返礼品としている松葉ガニ＝鳥取県提供



福岡県の共通返礼品で多くの寄付を集める辛子めんたいこ＝福岡市提供

## 各地の主な共通返礼品

宮城県	笹かまぼこ、ホヤ、こけしなど7品目
兵庫県	但馬牛、神戸ビーフ、県産米の清酒の3品目
高知県	カツオ、マグロの2品目
鳥取県	鳥取和牛、梨、カニ(松葉ガニなど)の3品目
福岡県	辛子めんたいこ、もつ鍋、あまおうなど17品目
佐賀県	佐賀牛、ノリ、ミカンなど7品目
熊本県	あか牛、馬肉など4品目

## ふるさと納税 自治体格差解消へ

知県のカツオのように複数の市町村で名物として通用している産品がある場合、都道府県が認定すればその都道府県内の一部か全部の市町村で返礼品にできる共通返礼品制度を創設した。

### 9割占める町も

背景には、海産物や肉、コメといった人気返礼品の産地や加工場の立地自治体に寄付が集中する状況がある。道内でも22年度にホタテの返礼品などで最も多い寄付を集めた紋別市(194億円)と、最も少ない後志管内島牧村(218万円)の差は約9千倍に上る。

現在、共通返礼品を認定している18府県のうち福岡

県は、制度創設当初の19年度から、辛子めんたいこやもつ鍋など17品目を共通返礼品に認定し、格差の縮小に取り組み。

### 導入18府県 道は慎重

背景には、海産物や肉、コメといった人気返礼品の産地や加工場の立地自治体に寄付が集中する状況がある。道内でも22年度にホタテの返礼品などで最も多い寄付を集めた紋別市(194億円)と、最も少ない後志管内島牧村(218万円)の差は約9千倍に上る。

現在、共通返礼品を認定している18府県のうち福岡

実現できた」と話す。

### ホタテ活用提言

道内では、中国の措置で影響を受けるオホーツク海産などのホタテの消費拡大につなげようと、根室市の石垣雅敏市長が9月、未加工ホタテを期間限定で共通返礼品にするとの提言書を鈴木直道知事に提出した。

ただ道は、市町村への聞き取りの結果、生貝の品質管理に懸念を示す自治体があったなどの理由で導入に消極的。寄付額の少ない自治体を中心に、扱いやすい冷凍ホタテ貝柱を共通返礼品にするよう求める声もあるが「ホタテを返礼品として自治体の反発が予想される」(道官民連携推進局)と難色を示す。

道は共通返礼品の代わり